

坂の上通信

平成二十九年六月十七日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文芸部（四〇三演習室）

文化祭 特別号

将来の仕事はどうしますか？

高校を卒業した後はどうしますか？



例年、新聞文芸部では文化祭企画として全校一斉アンケート「当世美高生気質」を実施している。今年度は美

高生が自分のライフプランをどのように考えているのかを調査・分析した。

まずは【資料1】を

見てほしい。高校卒業後の進路をどう考えているのかをまとめたものである。

男女ともに、大学進

学を考えている人が圧倒的に多い。男子は特にその傾向が強く、専門学校や短期大学を希望する人はごくわずかだ。それに比べて女子は専門学校や短期大学への希望が一定数いるようだ。これはここ数年の美高の進学実績とおおむね一致する。

次に、【資料2】を見てほしい。将来の職業について具体的なイメージを持っているかどうかを、文理、さらに男女別に整理してみた。一年生についてはまだ文理選択をしていないため「現時点で自

分が行きたいと考えている系統」で答えてもらった。左から「就きたい職業がある」人の割合の高い順に並べてみたが傾向として女子は就きたい職業を明確に持っている人が多いことが

分かる。理系女子においては、過半数を超えており、さらに「職業は決まっていなくても分野のイメージはある人」も含めると、その割合は90%以上である。文系女子は、理系女子よりは明確なビジョ

ンを持っている人が少ないが、それでも80%以上が将来に対して何らかのイメージを持っているようだ。

対して男子は文理ともに70%程度にとどまっている。

ただし、この結果から「男子は将来への見通しが甘い」とか「女子の方がしっかりしている」と断じるのは早計である。

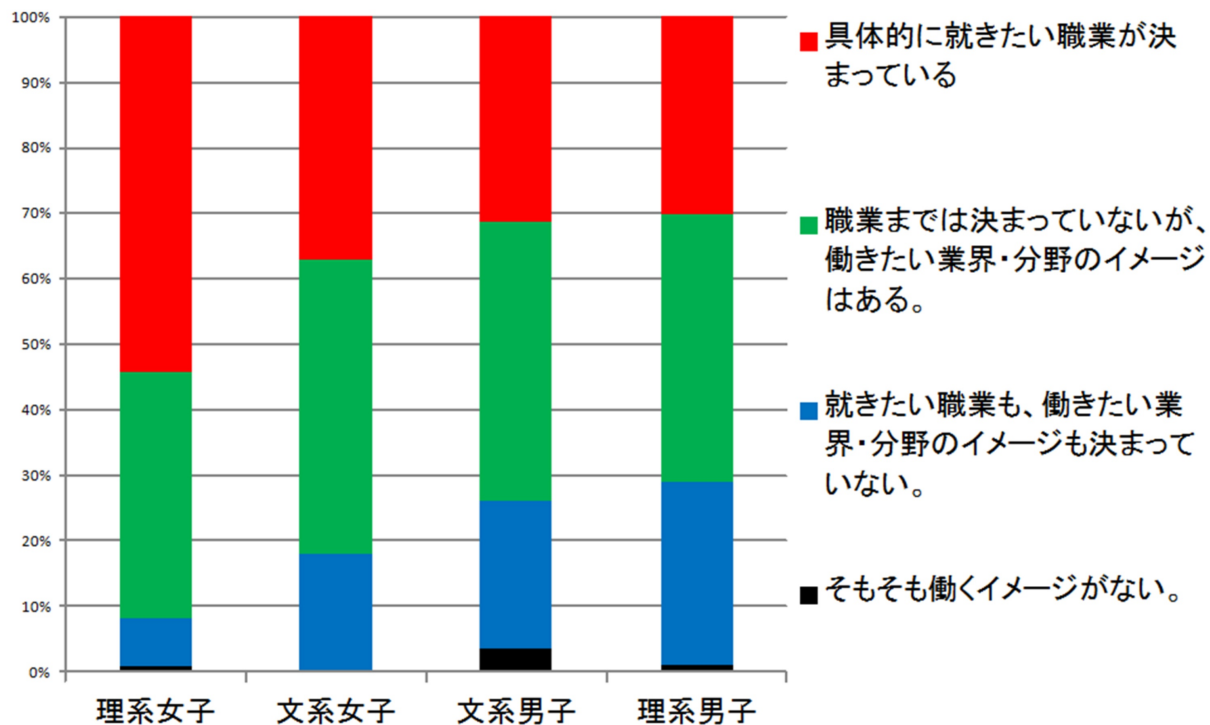
男女雇用機会均等法などにより、職場における男女差は昔よりはなくなりつつある。ただし、いまだ男性社会の風潮は根強い。例えば、医師だと「女医」という言葉があるように、女性というだけで特別な呼び名が付けられるなど、一部の職業では女性がまだ少ないことが分かる。一方で看護師など比較的女性が多い職業もある。

その是非はここでは論じないが、それだけ男性は職業の幅が広くそのぶん具体的なイメージが持ちにくいという事情もあるのではないだろうか。

また、一時期「リケジョ」という言葉が、マスコミにぎわったことがあった。これも理系の女子が珍しいからこその呼び名だと思われるが、そのぶん、理系に進む女子は「理系科目が好き」という以外の、具体的な目標を持つ人が多いのではないだろうか。その結果がこのグラフに表れていると推測できる。

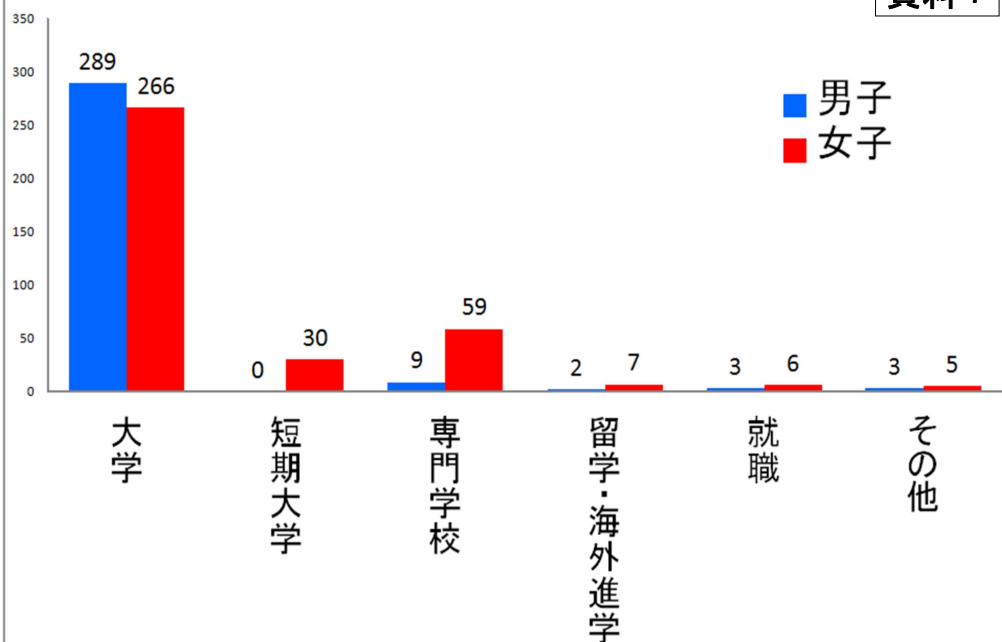
資料2

将来、就きたい職業は決まっているか



資料1

高校卒業後の第一志望の進路



【アンケートの有効回答数について】現在の美高の全校生徒数は710名。アンケートは、各クラスの協力のもと一年生240名、二年生217名、三年生225名から回答を得ました。総回答者数は682名で、全校生徒の96%です。ご協力ありがとうございました。

給料は、いくら欲しいですか？

お金が全てではないが、全てのことにお金はかかる。

【資料3】で示したのは、美高生の「10年後にもらいたい収入額」と「貯金しておきたい金額」である。参考として、広島県の28歳での平均賃金と全国の20代後半での平均貯金額を併記した。美高生の平

均を出す際には、回答の一部に「数千万円」など極端な額が見られたため、全回答からそれぞれ上下10%の人数を除外して算出した。

まずは、上の「希望収入額」から見ていこう。美高生の希望収入額は男子が約40万円、女子が約27万円となっている。

これだけを見ると、全国平均よりかなり高額の手取りをもらいたいと考えており「世の中そんなに甘くない」と言われそうである。

しかし中央値を算出したところ、男子は35万円、女子が25万円という数字が出た。

中央値とは、データを小さい順に並べた際に、真ん中に来る値のことである。たとえば、1万、2万、30万の平均は11万だが、中央値は2万となる。平均値と違い、回答の中に極端に高い数値があっても、影響を受けにくいというメリットがある。

28歳の人の広島の平均賃金は、男子が約28万円、女子が約23万円となっている。美高の生徒の中央値との差は、男子は約7万円、女子は約1万円である。男子にはまだ甘さを感じられるが、女子はかなり現実的な見方をしていると言つてよい。

ではこの金額で一人暮らしが可能だろうか。マイホーム情報などを掲載しているサイトによると、一人暮らしの家賃の平均は約6万円、光熱費や水道代では約1万円、服飾費が約2万円、通信費が約1万1千円、医療費や日用品が3千円、交際費が1万円となつてい

る。合計すると14万円である。

平均賃金から計算すると、自由に使える金額は約10万円前後といつたところか。すべてを貯金にまわせば、年間100万円ほど貯められる理屈だ。では、実際はどうか。

4割が貯金0

今度は下の表を見てみよう。美高の男子の貯金したい金額の平均と、全国の20代後半での平均貯金額（男女別のデータはなかった）はあまり差がない。女子においては、半分程度である。中央値を算出するとさらに金額は下がり、100万円程度の貯金しか考えていないようだ。全国平均ではもっと高い金額が出ているので、もう少しお金を貯めることができるはず、と思われるだろう。

もう少し詳しく調べてみると、この「全国の20代後半の貯金額の平均および中央値」は「預貯金がある人に聞いた額」であることがわかった。そこで「貯蓄を持たない世帯の割合」を調べたところ、20代は、41%が貯蓄を持っていないことが分かった。これらを含めた全体の平均貯金額は116万円、中央値は30万円であった。

20代後半になると結婚など将来のマネープランについて考え、貯金をする人が増えはじめるようだ。

あなたは結婚したいですか？

【資料4・5】は、美高生の「希望する初婚年齢」を年代別に集計したグラフだ。

男子の希望として、30代を迎える前に結婚したい人が59%、遅くとも30代前半までに結婚したい人を加えると75%になる。結婚したい時期は気にしない人が全体の10%いる。

対して女子では、30代を迎えるまでに結婚したい人が72%おり、全体の2割程度は20代前半までに結婚したいと考えている。30代前半前までを考えている人は加えると、87%である。

一方で、女子で結婚したいと思わない人は7%で、これは男子の約半分である。女子の方

が結婚願望が強い、しかも早い段階での結婚を希望することがかがわける結果となった。

反面、男女とも「そもそも結婚したいと思わない」と答える人が一定数いることには注目したい。特に男子では6人に1人がそう回答しており、その理由までは今回調査していないが、結婚に対して必ずしも肯定的なイメージを持つ人ばかりではないようだ。

さて今度は、美高の外に目を向けてみよう。日本の初婚年齢がどんどん高くなっていることはよく言われる。実際に1950年代の平均初婚年齢は男性が約26歳、女性が約23歳

だったのに対し、2015年には男性が約31歳、女性が約29歳となっている。

美高の結果と重ねてみると、おおむね半数以上の生徒は、平均的な結婚願望を抱いていることが分かる。

関連して、【資料6】にも注目してほしい。これは、他国の平均初婚年齢について調査したものだ。この表以外でもフランスでは男性

約32歳、女性約31歳、ハンガリーは男性約33歳、女性約31歳、モンゴルは男性約26歳、女性約24歳、メキシコで

は男性約26歳、女性約23歳だった。

概して先進国では初婚年齢が高く、発展途上国では低い傾向が見られた。先進国では、女性が社会的に自立し、自分の生活を確立できる体制がある程度整っていることも多い。そういうことも、この数字の理由だろう。

このほかにも「結婚せず同棲で十分」と考える人が多い国があるなど、文化の違いや結婚の形が多様化していることを感じさせる調査となった。

資料6

世界の平均初婚年齢

国名	男性	女性
日本	31.2歳	29.7歳
イタリア	34.0歳	30.6歳
カンボジア	24.9歳	22.0歳
世界平均	28.6歳	25.5歳

(出典) 国際統計格付センター (<http://top10.sakura.net.jp/index.html>)

資料3

	美高生		全国
	20代後半での希望収入	中央値	28才の平均賃金(広島)
男子	40.1万円	35万円	28.4万円
女子	27.2万円	25万円	23.6万円

	美高生		全国	
	20代後半での希望貯金額の平均	中央値	20代後半での平均貯金額	中央値
男子	264.6万円	100万円	287万円	158万円
女子	148.4万円			

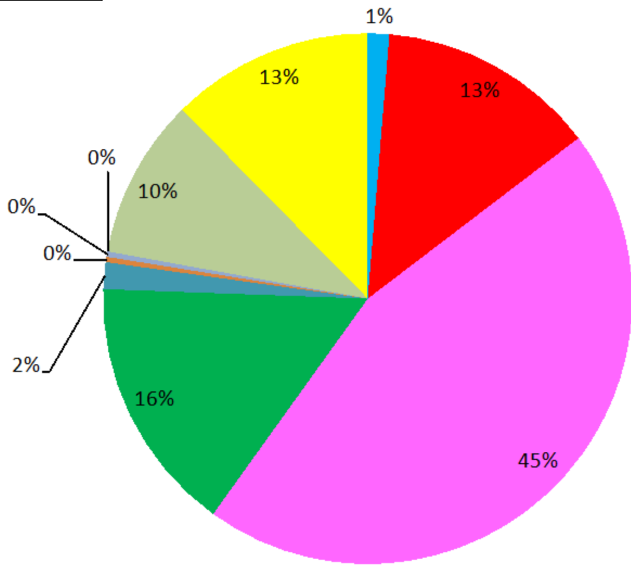
(出典)

上：年収ガイド (<http://www.nenshuu.net/>)

下：金融広報中央委員会発表の「家計の金融行動に関する世論調査」「単身世帯」(2016年)

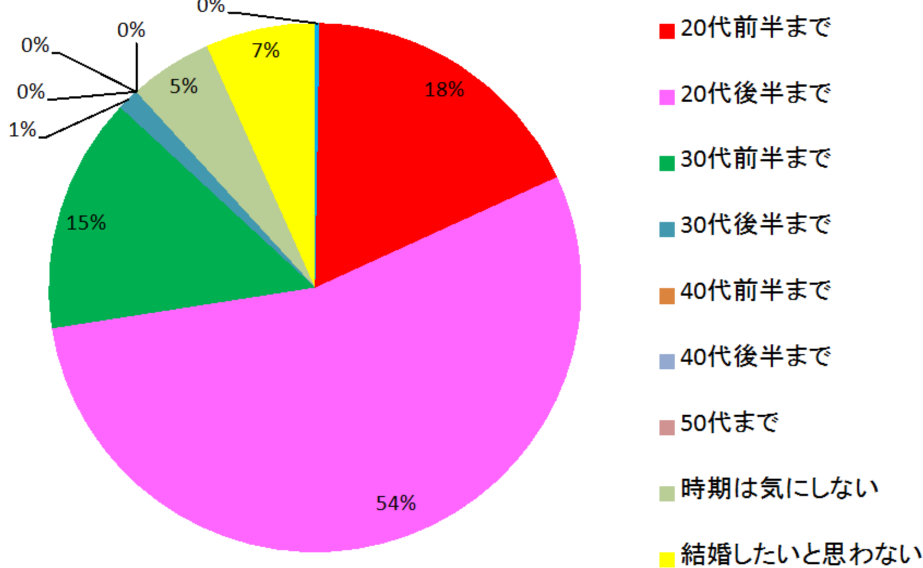
資料4

いつ頃までに結婚したいか (男子)



資料5

いつ頃までに結婚したいか (女子)



どんな家庭を築きますか？

これまでの調査からも明らかのように、男子も女子も「将来的には結婚を」と考えている生徒の方が圧倒的に多い。ただし、今の時代は少子高齢化社会と言われており、また女性も男性と同じように働ける職場も増えてきている。同時に、それは家庭の形の多様化にもつながっている。

【資料7】は、家族の「人数」に注目してどのような家庭を築きたいかを聞いた結果である。【資料4・5】で見たように一定数は「1人で暮らしていきたい」と回答しているが、結婚をした場合は「子供をもうけたい」という回答が、男女ともに8・9割を占めている。

その中でも、「パートナーとの間に、子どもを2人もうけたい」と回答する人が、男女ともに半数以上を示している。公益財団法人生命保険文化センターの調査によると、理想的な子どもの数は2・35人、実際に持つつもりは2・01人である。この数字を見れば、美高生の意識もそう世間と大きく離れているわけではなさそうだ。

同調査によると、理想の数だけ子どもを持たない理由は「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」という経済的な理由が最も多く、次に「高齢で産むのはいやだから」「欲しいけれどできないから」といった肉体的、心理的な理由が続いていた。では次に、「仕事」に注目して、理想的な家庭のあり方についてどのような考えを持っているか見てみよう。

【資料8】にあるように、こちらは男女で大きな差が見られた。女子は「共働きをした」と考えている人が最も多いが、男子で最も多いのは「パートナーに家庭に入ってもらいたい」という考えの人だ。共働きを希望する理由は、先ほど述べたように、子育てにお金がかかるといった経済的な理由が一番だろう。さらに女性の場合は、働くことで社会に参加したいという思いも加わり、この結果になっているのではないだろうか。

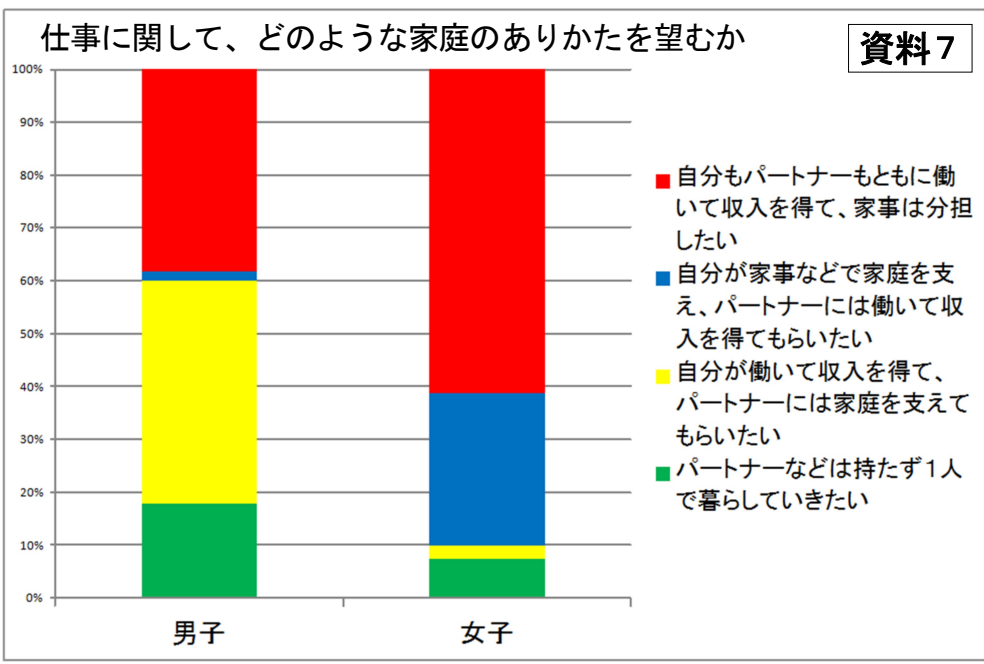
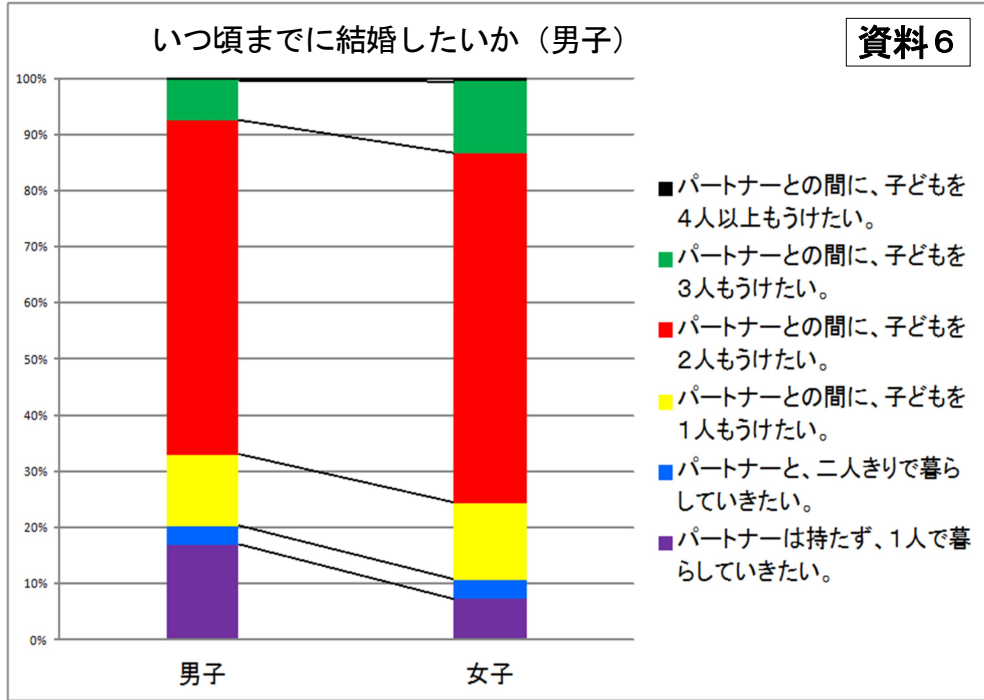
最後に、「将来広島で働きたいか」というテーマでアンケートを行った。「働きたい」と答えた人は「絶対に」と「できれば」を合わせて34%で、全体の三分の一を占めている。ここには示していないが「広島で働きたい」と回答した人に、理由を聞いてみた。

一番多かったのは「住み慣れている土地なので安心できるから」と答えた人だ。その他には「家族の近くで生活したいから」といった回答が多かった。やはり、安心感や家族がその理由になっている人が多いようだ。

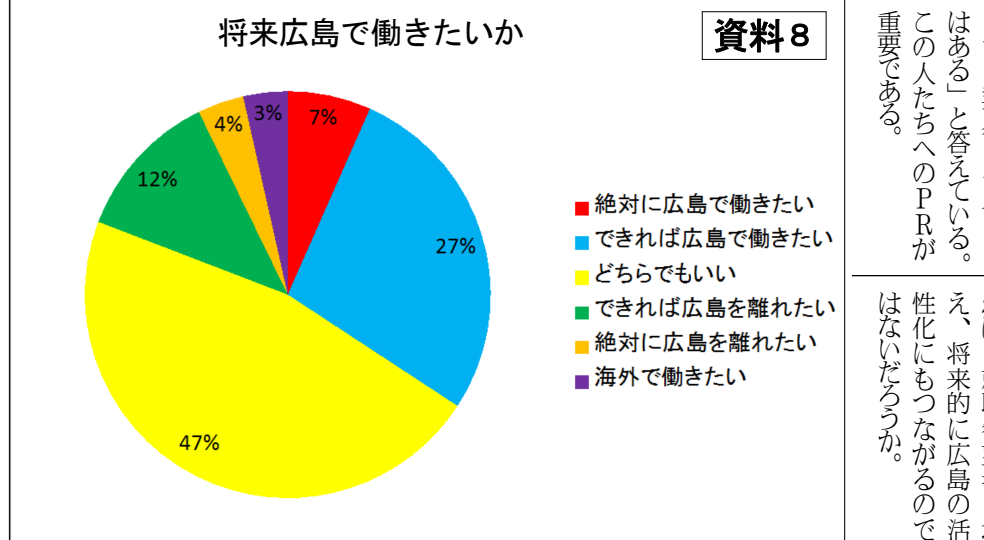
一方「広島で働きたくない」と答えた人は「絶対に」と「できれば」を合わせて16%。同様にアンケートで理由を聞いたところ、「一人暮らしをしてみたいから」と答えた人が多かった。その他では「住んでみたい場所があるから」「新しい土地で挑戦してみたいから」といった回答があった。「別の土地で〇からの新しいスタートを切りたい」という人が多いようだ。

さて、アンケート全体で約半数を占めたのが「どちらでもいい」と答えた人だ。広島に魅力や愛着を感じないわけではないが、それ

広島で働きたいですか？



最後に、「将来広島で働きたいか」というテーマでアンケートを行った。「働きたい」と答えた人は「絶対に」と「できれば」を合わせて34%で、全体の三分の一を占めている。ここには示していないが「広島で働きたい」と回答した人に、理由を聞いてみた。



【資料2】から、文理男女問わず約40%の人たちが「職業までは決まっていなくても、働きたい業界・イメージはある」と答えている。この人たちがPRが重要である。

残念なのは、私たちがTVCMもないそんな企業のことを、ほとんど知らないことだ。高校生に向けてそういった情報発信がもっとあれば、就職希望者も増え、将来的に広島活性化にもつながるのでないだろうか。

美・鈴・鈴・鈴

今年の文化祭特集は美高生の将来プランがテーマだ。その中で結婚についての項目もあったので、結婚について豆知識を調べた。▼結婚式のベストシーズンがいつなのかを存じだろうか。「ジュンブライド」という言葉もあるが、実は春と秋に結婚式を行う人が多く、秋なら11月が最も多い。文化の日や勤労感謝の日といった祝日が多く、ゲストも出席しやすいというのもあるが、11月22日が「いい夫婦の日」と言われるのも、人気の一つだろう。▼株式会社すらネットが行った結婚観に関する意識調査によると、全国的に高校生は、小・中学生の結婚願望が約90%と高いのに対し、高校生は約77%と低下する傾向にあるようだ。成長するなかで結婚に対して幸せなイメージが持てなくなっているのだろうか。▼今回のアンケート結果をみながら、親から結婚について聞いたりしてみるのもいいだろう。（竹中みく）

新聞文芸部は、少人数ながらも協力し合っているが今回の文化祭に向けて準備してきた。ぜひ楽しみながら読んでほしい。

編集後記